

# AV情報スクランブル

Audio Visual Information

8月 Scramble

## 主要記事

2000年(第47回)教育映像祭中央大会  
「2000年教育映像祭優秀映像教材選奨」入選作品  
日本教育ソフト協議会「第2回教育ソフト祭り」

『インターネットと教育』フェスティバル2000」早稲田大学で開催  
平成12年度千葉県視聴覚教育研究大会

## 協会情報

二〇〇〇年(第四七回)教育映像祭中央大会

日本視聴覚教育協会が毎年開催している教育映像祭は、今年より「夏休みこども映画フェア」が新たに加わった(14頁参照)が、従来の「視聴覚教育功労者表彰」と、「優秀映像教材選奨入選作品」の表彰、そして受賞作品の上映会については以下の要領で行われる(入賞作品の一覧は次項参照)。

1・期日

八月二十九日(火)

2・会場

東京霞ヶ関・虎ノ門ホール(東京都千代田区霞ヶ関三二一三) 電話〇三三三五八〇七二五一

3・日程

二時より「主催者挨拶/文部大臣表彰/日本視聴覚教育協会会長表彰/文部大臣挨拶/謝辞(受賞者代表)/三時より「最優秀作品上映会」

4・上映作品

「母(おぼ)」一三分、学習研究社  
「ワシントンポスト・マーチ」四〇分、東映

「羅 北村武資のわざ」三三分  
日経映像

5・参加方法

中央大会参加希望者は、往復はがき(一人一枚)に、住所・氏名・所属を明記の上、八月十八日(金)までに、〒一〇五〇〇〇  
一 東京都港区虎ノ門一 一七  
一 視聴覚ビル 日本視聴覚教育協会宛、申し込むこと。先着二〇〇名までを、ご招待いたします。

「二〇〇〇年教育映像祭優秀映像教材選奨」入選作品

本年度の標記選奨は、一七社四三本の教育映画、三三社一三八本の教育ビデオ、一二社二〇本のコンピュータソフトウェア(CDROM)の参加作品を対象に審査が行われ、次のように入選作品が決まった。

A・映画の部

最優秀作品賞(文部大臣賞)四作品

学校教育部門小学校向(道徳)「母(おぼ)」一三分、学習研究社  
社会教育部門市民生活向「風のひびき」五四分、東映

児童劇・動画部門(児童劇)「ワシントンポスト・マーチ」四〇分、

「図書館ボランティア」図書館ボランティア研究会編、丸善、二〇〇〇年二月刊、B六判、二三六頁、二四〇〇円

木更津市が学校支援ボランティア活動推進事業に取り組むようになって三年が経つ。成果とともに問題点も明らかになってきた。問題の多くは、ボランティア側のニーズと学校（行政）側のニーズとが一致していない場合に発生している。これらの対応に苦慮しているとき本書に出合った。

書名のとおり、図書館関係者向けに書かれた「図書館ボランティア」についての本であるが、学校教育関係者が学校支援ボランティアの在り方を考える際にも大変参考となる好著である。何よりも専門書であるにもかかわらず、専門書くさくないのが素人の読み手にはありがたい。それだけ幅が広く、懐の深い書であると言える。

生涯学習とボランティアの関係、図書館ボランティアの系譜と意義、図書館ボランティアの実践例などがわかりやすく書かれている。と



りわけ巻末の「図書館ボランティアのガイドライン（試案）」がよい。きつと関係者の豊富な経験の中から生まれたものである。例えば、「ボランティアにやってもらいたいこととやってもらいたくないことをはっきり示す」といった事項がある。これなど極めて当たり前のことのようにであるが、現場の苦勞をほんとうに知っている人でなければ示せるものではない。学校におけるボランティア受け入れの歴史は図書館などに比べると浅い。このため、学校には、ボランティアとのトラブルを解決するためのノウハウが不足している。本書に示されたガイドラインは、きつと学校においても十二分に役立つことであろう。学校教育関係者及び学校のボランティア担当者にもぜひ一読をお薦めする。（多田 元樹）

東映

教養部門「羅 北村武資のわざ」

三三分、日経映像

優秀作品賞 一六作品

学校教育部門

小学校向（道徳）「どろんこサ

ブウ」一五分、東京書籍

小学校向（道徳）「ちいさいち

いさい手をつないで」一一分、東

京書籍

小学校向（道徳）「そばの花

さいた日」一三分、学習研究社

社会教育部門

家庭生活向「少年犯罪と親の責

任」二五分、東映

市民生活向「心かよいあうボラ

ンティア活動 子どもたちと共に

つくる学び」二〇分、リュック

市民生活向「港まちの小さなネ

ットワーク」五一分、東映

市民生活向「病院の子どもたち

に生きる喜びを プレイセラピ

ィ・21世紀は子どもたちの時代」三

〇分、岩波映像

職能教育部門

「カリオロジ」に基づく歯科臨

床の実践」二〇分、学習研究社

「江東区の伝統工芸 木挽」

一八分、毎日映画社

児童劇・動画部門

児童劇「未来は僕らの手に 生

活と地球環境」二八分、桜映画社

動画「マザー・テレサ」二〇分、

学習研究社

動画「少年むくはとじゅう物語」

二一分、東映

動画「越後の昔ばなし あった

てんがのお」三〇分、虫プロダ

クション

教養部門

「明治建築をつくった人びと

コンドル先生と四人の弟子」五

四分、日本映画新社

「亜欧堂田善」二八分、記録映

画社

「狂言・野村万蔵 技とこころ

」五〇分、桜映画社

B・ビデオの部

最優秀作品賞（文部大臣賞）七

作品

学校教育部門小学校向（総合的

な学習の時間）「ゆたかな森へ

里山」二二分、紀伊國屋書店

学校教育部門中学校向（音楽）

「和楽器に挑戦」二一分、東京シ

ネ・ビデオ

学校教育部門高等学校向（芸術）

「つくる、飾る、デザイン行動」

「インターネットの心理学 教育・臨床・組織における利用のために」坂元章（編）、学文社、二〇〇〇年五月刊、A四版、一八一頁、一九〇〇円



インターネットの普及により、私たちは時間や地理的制約から解放されて多様な情報を享受し、また発信できるようになった。本書は、教育・臨床・組織の分野から幅広いテーマを選んでインターネット利用の利点と問題点や課題について、手際良く簡潔に解説し、「インターネットの影」として、それがもたらしうる負の影響（社会的不適応、有害情報、情報格差）も指摘した、バランスのとれた書である。

日本では未だ活発とは言えない領域での利用の可能性を探ろうとする人のために良い水先案内となるように、取り上げられているオンラインの事例に触発されて、さまざまなオンラインの活動との組み合わせを考えてみるのも楽しい。

教育の分野では、小・中・高校の現場での利用の事例、情報活用能力の育成や国際理解教育のためのインターネットの効用、北米のパーチャル大学の現状と将来像を取り上げ、俯瞰している。また、臨床の分野では電子メールを用いたセラピーやインターネット自助グループの効果や特質、外出の機会のない身体障害者や高齢者の交

流手段としての有益性、偏見解消プログラムの有効性について、検討している。

全体として、広い視野に立ってインターネットという道具の多彩な諸側面を浮き彫りにしており、負の影響を小さくしながら、将来さらにどんな豊かな活用法が編み出されるのか、望ましい情報社会の内実はどんなものか等を考えさせられる一書である。

健全な社会意識や主体性と情報倫理を備えた、賢明な利用者を育てる教育の役割が重要であることも示唆している。（田中 みどり）

「世界の学校をたずねてみよう！」  
一四分、学習研究社  
小学校向（総合的な学習の時間）  
「調べてみよう！身近な川」一四分、学習研究社  
小学校向（総合的な学習の時間）  
「水を調べよう」一八分、東京書籍  
中学校向（社会）「西ヨーロッパの都市の暮らし」オランダ一七分、内田洋行  
中学校向（社会）「アンデスのインディオの暮らし」ペルー一五分、内田洋行  
中学校向（理科）「地震と災害」二〇分、毎日EVRシステム  
高等学校向（国語）「森鷗外」三〇分、学習研究社  
高等学校向（地理・歴史）「オスマンとムガルの世界」三〇分、NHKソフトウェア  
高等学校向（保健体育）「しのびよる性感染症」二二分、東映  
高等学校向（家庭科）「赤ちゃんと共に育ち育てる」二六分、NHKソフトウェア  
高等学校向（水産）「試みる漁村 漁村の活性化に向けて」三〇分、日本シネセル  
社会教育部門

二三分、校映画社

社会教育部門家庭生活向「生活習慣病からわが子を守る」一七分、東映  
社会教育部門市民生活向「とび出そう まちの中へ 自然の中へ 夢を持った子どもを育てるために」二〇分、新生映画  
職能教育部門「水田の米又力除草法」四五分、農山漁村文化協会  
教養部門「ひとすじの道」五五分、日経映像  
優秀作品賞 二九作品  
学校教育部門

小学校向（国語）「パネルディスプレイ スカッシュョンをしよう」二六分、東京書籍  
小学校向（社会）「世界でかつやくする日本人」一五分、内田洋行  
小学校向（理科）「音の正体をつかめ！」二五分、毎日EVRシステム  
小学校向（音楽）「オーケストラのヒ・ミ・ツ！」二七分、毎日映画社  
小学校向（体育）「病気になる体をつくる 小学生の生活習慣病予防」一四分、東映  
小学校向（総合的な学習の時間）

「世界の学校をたずねてみよう！」  
一四分、学習研究社  
小学校向（総合的な学習の時間）  
「調べてみよう！身近な川」一四分、学習研究社  
小学校向（総合的な学習の時間）  
「水を調べよう」一八分、東京書籍  
中学校向（社会）「西ヨーロッパの都市の暮らし」オランダ一七分、内田洋行  
中学校向（社会）「アンデスのインディオの暮らし」ペルー一五分、内田洋行  
中学校向（理科）「地震と災害」二〇分、毎日EVRシステム  
高等学校向（国語）「森鷗外」三〇分、学習研究社  
高等学校向（地理・歴史）「オスマンとムガルの世界」三〇分、NHKソフトウェア  
高等学校向（保健体育）「しのびよる性感染症」二二分、東映  
高等学校向（家庭科）「赤ちゃんと共に育ち育てる」二六分、NHKソフトウェア  
高等学校向（水産）「試みる漁村 漁村の活性化に向けて」三〇分、日本シネセル  
社会教育部門

「学校にLAN入しよう 教室をインターネットにつなごう」学校ネットワーク適正化委員会編、エヌ・ジー・エス、一九九九年九月刊、B五版、一五二頁、二五〇〇円

本書の主題は、「学校に図書館

やプールがあるのが当たり前であるように、ネットワークの存在も当たり前にした」という言葉に端的に表されている。それが、一つの願いであるのと同時に地域の人々がもっと気軽に学校にいける状況を作りたいという願いも込められている。本書の出版を機に昨年八月に群馬県前橋市で開催された、ネットデイサミットの宣言文からもその願いがはっきりとあらわされている。ミレニアムプロジェクトの中でも、校内LANの完備が取り上げられているが、行政の取り組みの中では遅々として進展しないことも多い。行政の取り組みが追いつかないところを、ボランティアの力で補う必要がある。その手伝いをして、地域の学校を地域の人々の手で作り上げていくことよびかけているのが本書である。とはいえ、本書はネットデイ



のマニユアルとして、ハウトゥの要素を十分に含んでいる。設計マニユアルでは学校のネットワークをどう構成するかを取り上げ、配線マニユアルでは具体的な作業の方法が示され、設定マニユアルでは各種ネットワーク機材の設定にまで及んでいる。

それだけではなく、ボランティアの仕事マニユアル、学校のサポートマニユアル等、ボランティアとして学校のネットワーク構築にかかわる際のノウハウについても触れられている。それも、今までに実際に学校のネットワーク構築にボランティアとして携わった人々の声が、蓄積されていることも大きな魅力である。そして、それらの情報が変化し続けるネットワーク社会の中で生き続けることができるように、<http://www.nes-tk.gr.jp/>でも公開され補われている。(西田 光昭)

家庭生活向「健康長寿は日本型 食生活から」二五分、農山漁村文化協会

家庭生活向「インフルエンザはなぜこわい? その予防と対策」一六分、毎日EVRシステム

市民生活向「人生楽しく・生涯現役」三一分、東映

市民生活向「聴く喜び 話す喜び」三二分、東京シネ・ビデオ

職能教育部門  
「与薬」二二分、ビデオ・バック・ニッポン

「農業半減! 害虫管理の実際」二九分、農山漁村文化協会

「算数すきになれるかな 算数の活動」二二分、東映

「学校にネットワークを!」二二分、日本シネセル

教養部門  
「時を超えて響くもの 日本の金工品、その多彩な世界を探る」三五分、NHKソフトウエア

「不断の出版 高群逸枝」四五分、紀伊國屋書店

「入門 能の音楽」二五分、紀伊國屋書店

「指先からユラユラ 点字毎日の歩みと活動」一八分、毎日映画社

「吉川英治 宮本武蔵 小説を旅する」五四分、岩波映像

C・コンピュータソフトウエア (CD-ROM) の部  
最優秀作品賞(文部大臣賞)二作品

小学校向(総合的な学習の時間)「はっぴな名人」Win95/98/NT4 ジャストシステム

中学校向(家庭科)「乳幼児の心とからだの発達」Win95/98/2000/NT4 東京書籍

優秀作品賞 六作品  
学校教育部門

小学校向(社会)「西郷隆盛、昭和の人々」Win95/98/2000/NT4,Mac 東京書籍

小学校向(総合的な学習の時間)「歌で覚えるはじめての物語 遊ぼう歌おう」Win95/98 創育

小学校向(総合的な学習の時間)「町の探検 わたしの町観察マップ」Win95/98/NT4 ファースト

中学校向(国語)「心とこゝは敬語の使い方」Win95/98/NT4 記録映画社

社会・職能教育部門  
「飲酒と健康」お酒との上手なおつきあい『飲酒健康をチェック

ドキュメンタリービデオ

岩波映像(株)

「記憶のための連作

野田北部・鷹取の人びと」全一四部  
阪神大震災で大きな被害を受けた神戸市長田区を、五年間、撮り続けたドキュメンタリービデオ「野田北部・鷹取の人びと」。

本シリーズの舞台となった神戸市長田区・野田北部地区はJR鷹取駅南側の住宅や商店街、町工場が密集しているところ。この力作を手がけた青池憲司監督は、あえて約一一 世帯にカメラを向け、定点観測の手法をとり、普遍性のあるテーマを浮かび上がらせていく。震災直後の圧倒的な災害の様相、そんなガレキの中で懸命に復旧作業をする人びとの姿や炊き出しなどから始まり、さら地に新しいまちがつくられるまでを、時系列で五、八五分のビデオ全一四部にまとめられている。

復興区画整理事業の導入をめぐって激論する人々、行政との話し合い、さまざまな利害の対立、「住民主体」のまちづくりは、住民の力量を問われることでもあった。



行政も住民の協力なしには事業を進められない。従来の「住民VS行政」の対抗構図を超え両者の協力でまちづくりは進められていく。

淡々とつづられたこの克明な記録から、私たちは、「自治」の原点を見、先進的な民主主義の形を見、と同時に復興まちづくりが壮絶な人間ドラマであることを思わずにはいられない。

価格  
個人 各部 六 円(税別)  
個人以外 各部 二二 円(税別)  
問い合わせ  
岩波映像(株)  
電話 三 五六八九 二六一

ソフトウェア

する Win95/98, Mac 毎日 E V R システム

「オーラル・ヘルス・プロモーション」口からはじまる健康づくり Win95/98, Mac 東海ビデオ システム

A V 情報

日本教育ソフト協議会「第二回教育ソフト祭り」

日本教育ソフト協議会では、教育用ソフトの展示・デモ及びセミナー等からなる標記イベントをソフトウェアメーカー一五社が参加し開催する。

なお、今年の新しい試みとして時間ごとに展示教科が変わる「教科別特別展示」も行う。

1・日時  
八月二三日(水、二〇時～一七時)  
2・会場  
都立産業貿易センター浜松町館  
(東京都港区海岸一七八)

3・参加費 無料

4・参加会社  
アスキー、NEC、エムソフト、がくげい、コンピュータエデュケーションシステム、新学社、創育、データポップ、電子メディアアサー

ビス、東映、日本ビコム、日立ソフトエンジニアリング、文溪堂、報映産業、ロゴヴィスタ

5・問い合わせ

日本教育ソフト協議会事務局  
〒一〇八 〇〇七三 東京都港区三田三二二 三 万代三田ビル五〇二 電話〇三 五四七六 五八六一  
<http://www.jces.or.jp/festa.html>

研究会情報

「インターネットと教育」フェスティバル2000 早稲田大学で開催

「インターネットと教育フェスティバル実行委員会「インターネットと教育フォーラム実行委員会」では、「広がるIT 学校・こども・教育」を大会テーマに、パネルディスカッション、ワークショップ、セミナー、展示等からなる標記フェスティバルを下記の要領で開催する。

1・日時  
八月二六日(土)・二七日(日)、  
九時～一七時

2・会場  
早稲田大学西早稲田キャンパス  
一四号館

子ども放送局は第二 第四土曜日、  
 エル・ネットを利用し、全国一四三〇  
 か所の受信施設に放送されています。  
 これからの放送番組予定表

八月五日(土)

「夏休み特別番組・イベント・  
 自然体験活動」

「夢」

福井発 恐竜いっぱい夏休み  
 恐竜エキスボふくい会場 (生中継)

「つぐみ」

まるかじり自然体験 ガールカウ  
 ト戸隠キャンプセンター (生中継)

九月九日(土)

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」



九月三日(土)

「夢」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

「つぐみ」

各地の情報

平成二二年度千葉県視聴覚教育  
 研究大会

千葉県教育研究会情報・視聴覚  
 部会では、「情報化社会に対応し  
 た視聴覚教育の推進」をテーマに  
 標記研究大会を開催する。

1. 期日 一〇月三十一日(火)

2. 会場

千葉県松戸市立古ヶ崎南小学校

3. 内容

公開授業、講演、課題別協議会

4. 参加費 無料

5. 問い合わせ

千葉県松戸市立古ヶ崎南小学校  
 校長 小林昭夫 電話〇四七 三  
 六二 七六一

短 信

スターテクノロジー(株)は、  
 次の住所に移転した。〒一〇七  
 〇〇五二 東京都港区赤坂二一  
 二一〇 国際溜池ビル六階 電  
 話〇三 五五四九 一五五五

鹿児島県立図書館の住所が下記  
 のように変更された。〒八九二  
 〇八五三 鹿児島県鹿児島市城山  
 町七一